

遠野市土砂・浸水ハザードマップ 【宮守町宮守版】

Tono City Landslide and Flood Hazard Map 【Miyamori-cho Miyamori】

土砂灾害や水害から自らの命、家族の命を守るために!



令和4年4月発行
保存版

平成28年8月 台風第10号
小鳥瀬川の被害の様子

避難情報の内容・解説

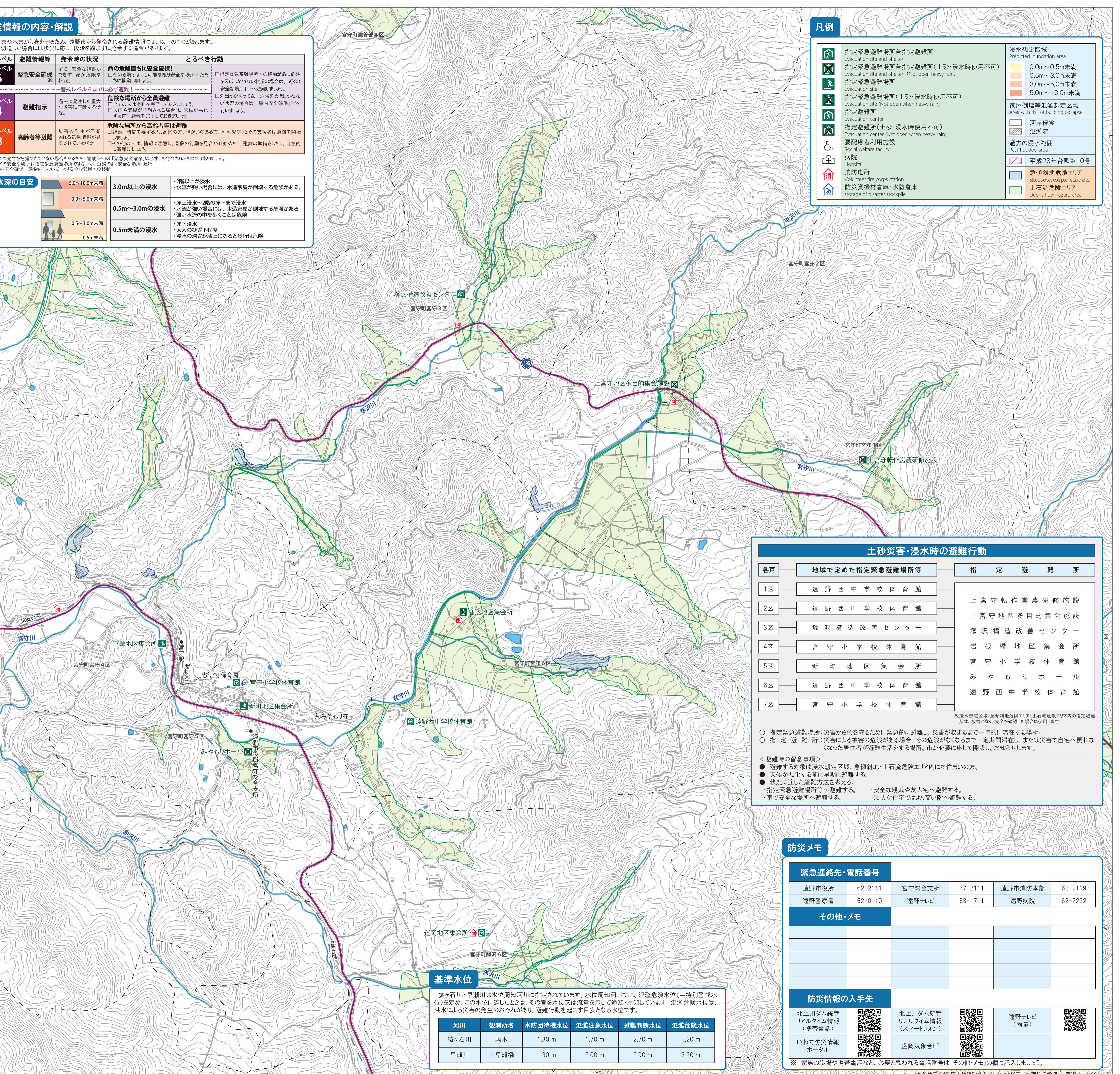
土砂災害や水害から身を守るために、遠野市から発給される避難情報には、以下のものがあります。

災害が初めた場合には状況に応じ、段階を踏まて発令する場合があります。

警戒レベル	避難情報等	発令時の状況	るべき行動
警戒レベル5 緊急安全確保	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況	命の危険性に安全確保! 今ある場所よりも可能な限り安全な場所へたどり着く。 △指定緊急避難場所への移動が命に危険を及ぼしかねない状況の場合は、「近くの安全な場所」へ避難しましょう。	△指定緊急避難場所への移動が命に危険を及ぼしかねない状況の場合は、「近くの安全な場所」へ避難しましょう。 △外出があがえで命に危険を及ぼしかねない状況の場合は、「屋内を全確保」を行いましょう。
警戒レベル4 避難指示	過去に発生した重大な災害に匹敵する状況	危険な場所から全避難 全ての人は避難を完了しておきましょう。	△大附や豪雨に予想される場合は、天候が悪化する前に避難を了承しておきましょう。
警戒レベル3 高齢者等避難	災害の発生が予想されるも象徴が発表されている状況	危険な場所から高齢者等は避難 ・床上浸水~2階の床下まで浸水 ・木造が倒壊の場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。 △他の人は、情報を注意し、普段の行動を見合わせめたり、避難の準備をしたり、自主的に避難をしましょう。	△大附や豪雨に予想される場合は、天候が悪化する前に避難を了承しておきましょう。
に必ず避難! 警戒レベル4まで			
△外出があがえで命に危険を及ぼしかねない状況の場合は、「屋内を全確保」を行いましょう。			
警戒レベル4まで			
※1 災害の発生を把握できない場合もあるため、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ずしも発令されるものではありません。 ※2 「近くの安全な場所」：指定緊急避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物 ※3 「屋内安全確保」：建物内において、より安全な部屋への移動			

浸水深の目安

3.0m以上の浸水	・2階以上が浸水 ・水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。
3.0~5.0m未満	△床上浸水~2階の床下まで浸水 △木造が倒壊の場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。 △強い水流の中で歩くことは危険
0.5m~3.0m未満	△床上浸水 △木造が倒壊する場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。
0.5m未満の浸水	△床上浸水 △人のひざ下程度 △浸水の深さが膝上になると歩行は危険



遠野市土砂・浸水ハザードマップについて

○この地図は、大雨によって発生する土砂災害や浸水の危険区域、過去の浸水範囲(平成28年台風第10号)、各地区的避難場所等を示したもの。

○猿ヶ石川、早瀬川、来内川の浸水想定区域は、岩手県が定めたもので、想定し得る最大規模の大気(各河川の2日間の流域平均雨量が猿ヶ石川で358ミリ、早瀬川で497ミリ)が降った場合を想定しています。

○要配慮者利用施設とは、「社会福祉施設、学校、医療施設等の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設」とされています。

○急傾斜地危険エリア・土石流危険エリアは、岩手県が土砂災害防止法により指定した土砂災害警戒区域と同様に基づく基礎調査が完了し、区域指定が未完了の区域を示しています。

○この地図に表示されていない危険区域でも土砂災害、浸水被害が発生する場合がありますので注意が必要です。

○各個人の居住地の地形、住宅構造、家族構成等には違いがあるため、適切な避難行動、避難のタイミングは各居住者で異なります。災害の種類別に自宅等が立退き避難を必要とする場所なのか、あるいは、上階への移動等で命に危険が及ぶ可能性がなくなるのか、あらかじめ確認することが必要です。

○どのような色覚の方にも比較的見分けやすいように配慮した配色としています。

令和4年4月 遠野市

